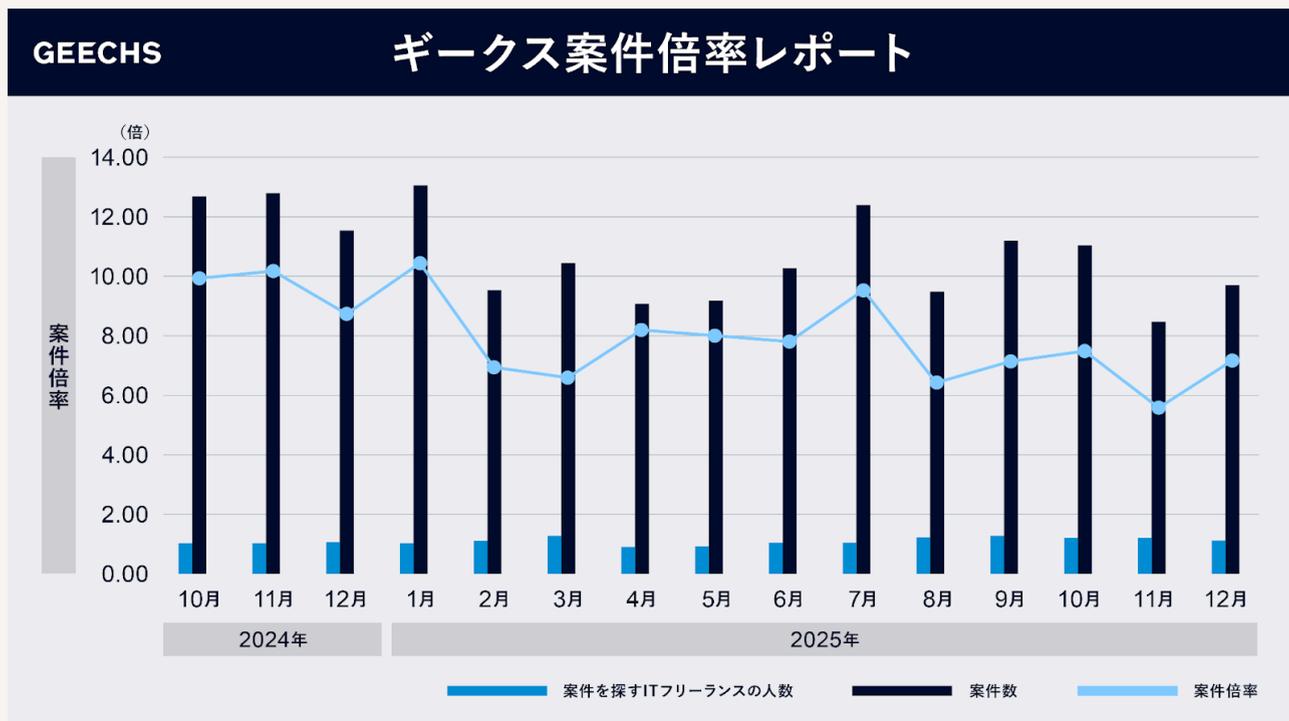


ITフリーランス市場における需給トレンドを表す 「ギークス案件倍率レポート」 ～四半期累計での案件倍率は6.74倍に～

ギークス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役CEO：曾根原 稔人、以下ギークス）は、案件数と案件を探すITフリーランスの人数から算出した「案件倍率」をまとめた、「ITフリーランス案件倍率レポート」を発表いたします。このデータは、ITフリーランス市場における需給トレンドを表すもので、ギークスでは、本レポートを四半期に一度発表しており、今回は2025年10～12月の案件倍率をまとめています。



▶ 2025年10～12月における案件倍率のトレンド

2025年10月から12月において、案件倍率は、10月：7.47倍、11月：5.70倍、12月：7.09倍と推移し、四半期累計では6.74倍となりました。

本四半期の案件数の伸びが大きかった分野として、生成AI・データ基盤構築に関する案件やセキュリティ強化に関連する案件、自社SaaSプロダクトの機能追加やマイクロサービス化に伴う開発案件の増加が見られました。

AI関連の案件においては、導入に向けた検証フェーズから実装フェーズに移行しており、PMやSRE、データアナリストといった、プロジェクトを牽引できる高度な専門性を持つ人材の需要が増加しています。

企業から求められるスキルとしては「Python」「TypeScript」の需要が堅調に推移しています。また、開発の上流工程を担当できるPM案件やAI連携に対応できるフリーランスが人気を集めており、AI活用が標準スキル化する中で、AIのアウトプットを精緻に言語化し、評価する判断力や、高度なAIリテラシーおよびセキュリティへの意識の醸成が不可欠となっています。AIに工程のすべてを委ねるのではなく、自らの業務を補完・拡張するツールとして「共創」できる人材が高く評価される傾向にあります。

▼直近1年間の案件倍率の推移

	2024年度			2025年度											
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
案件倍率	9.99	10.15	8.79	10.27	6.92	6.57	8.15	8.02	7.88	9.52	6.30	7.07	7.47	5.70	7.09

▶2026年1～3月のトレンド見込み

今後の見込みとして、案件・案件を探すフリーランス共に、例年通り、年度末に向けた人材確保や新規プロジェクトの立ち上げが進むため、1～2月は横ばい、3月以降に動きが活発化する見込みです。

OSのサポート終了や既存システムの老朽化に伴う「レガシー刷新」の案件が堅調に推移するほか、クラウドシフトやAI活用の進展に合わせ、セキュリティガイドラインの策定、診断、DevSecOps等の運用・開発ニーズが加速すると予測されます。

また、開発の内製化を推し進める企業が増加しており、外部パートナーとしてのフリーランスにも、チームの一員として深くコミットする姿勢が求められています。昨今の企業の「出社回帰」の潮流を背景に、対面コミュニケーションを柔軟に取り入れる人材は、マッチングにおいて優位性が保たれると推察されます。

今後は、自発的に技術スタックを更新し続ける「AIネイティブ」な視点と、プロジェクト全体を俯瞰して課題解決を牽引する主体性を兼ね備えた人材が、市場価値をより高めていくこととなるでしょう。

ギークスの「IT人材事業」とは

「働き方の新しい『当たり前』をつくる」を事業ミッションに掲げ、ITフリーランスの働き方を支援し、企業とマッチングするサービスを展開しています。ITフリーランス専門のエージェントサービス「GEECHS JOB（ギークスジョブ）」には現在23,000名を超える登録者を有し、20年以上の支援による豊富なデータ活用とキャリアアドバイザーの継続的なサポートを通じて、企業のニーズに応える最適なマッチングを実現します。

提供サービス

ITフリーランス専門の案件検索サイト「[GEECHS JOB（ギークスジョブ）](#)」
人材サーチ型のマッチングプラットフォーム
「[GEECHS DIRECT（ギークスダイレクト）](#)」
ITフリーランス向け福利厚生プログラム「[フリノベ](#)」

会社概要

会社名	ギークス株式会社
本社住所	〒150-6139 東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア 39階（WeWork内）
事業内容	IT人材事業（国内）、IT人材事業（海外）、Seed Tech事業
代表取締役CEO	曾根原 稔人
Webサイト	https://geechs.com/

本件に関するお問合せ先
ギークス株式会社 広報 pr@geechs.com